

＜タレンツ・トーキョー参加者の主な実績＞

2013年	○ <u>アンソニー・チェン</u> (2010) 監督『イロイロ めくもりの記憶』カンヌ国際映画祭カメラ・ドール(最優秀新人監督賞)、台北金馬奨最優秀作品賞はじめ4部門、東京フィルメックス観客賞他多数
2014年	○ <u>平柳敦子</u> (2011) 監督、 <u>曾我満寿美</u> (2011) プロデュース『OH LUCY!』(短編)カンヌ国際映画祭シネフォンダシオン部門第2位
2016年	○ <u>ビアンカ・バルブエナ</u> (2012) プロデュース『痛みしき謎への子守唄』(ラヴ・ディアス監督)ベルリン国際映画祭銀熊賞(アルフレッド・パウアー賞) ○ <u>石川慶</u> (2011) 監督『愚行録』ベネチア国際映画祭オリゾンティ部門出品 ○ <u>アノーチャ・スウィチャーゴーンボン</u> (2010) 監督『暗くなるまでには』香港国際映画祭 New Talent Award
2017年	○ <u>モーリー・スリヤ</u> (2010) 監督『マルリナの明日(映画祭タイトル「殺人者マルリナ」)』カンヌ国際映画祭監督週間出品、東京フィルメックス優秀作品賞 ○ <u>平柳敦子</u> (2011) 監督『オー・ルーシー!』(長編)カンヌ国際映画祭批評家週間出品 ○ <u>ギタ・ファラ</u> (2016) プロデュース『見えるもの、見えざるもの』(カミラ・アンディニ監督)トロント映画祭プラットフォーム部門出品、東京フィルメックス最優秀作品賞
2018年	○ <u>ヨー・シュウホア</u> (2015) 監督『幻土』ロカルノ国際映画祭金豹賞(最優秀作品賞)受賞、東京フィルメックス・コンペティション部門出品 ○ <u>シャン・ゾーロン</u> (2011) プロデューサー『ロングデイズ・ジャーニー この夜の涯てへ』(ビー・ガン監督)カンヌ国際映画祭「ある視点」部門出品、東京フィルメックス・コンペティション部門出品(2020年2月28日公開) ○ <u>早川千絵</u> (2014)、 <u>木下雄介</u> (2016)、 <u>石川慶</u> (2011) 監督『十年(日本)』(短編オムニバス)釜山国際映画祭他出品
2019年	○ <u>ニアン・カヴィッチ</u> (2016) 監督『昨夜、あなたが微笑んでいた』ロッテルダム国際映画祭 NETPAC 賞(最優秀アジア映画賞)東京フィルメックス・コンペティション部門出品 ○ <u>ブラッドリー・リュウ</u> (2017) 監督、 <u>ビアンカ・バルブエナ</u> (2012) プロデュース 『モーター・アカシア』第32回東京国際映画祭「アジアの未来」部門出品 ○ <u>アンソニー・チェン</u> (2010) 監督『熱帯雨』台北金馬奨最優秀主演女優賞、東京フィルメックス・コンペティション部門出品 ○ <u>石川慶</u> (2011) 監督『蜜蜂と遠雷』毎日映画コンクール作品賞、監督賞、山路ふみ子映画賞(作品賞)、報知映画賞作品賞、キネマ旬報ベスト・テン日本映画第5位、日本アカデミー賞優秀作品賞他
2020年	○ <u>小田香</u> (2015) 監督大島渚賞、『セノーテ』ロッテルダム国際映画祭 ブライト・フューチャ部門 出品、山形国際ドキュメンタリー映画祭アジ千波万部門、芸術選奨文部科学大臣新人賞 ○ <u>アリックス・アイン・アルンパック</u> (2015) 監督、 <u>アーミ・レイ・カカニンディン</u> (2014) プロデュース『アスワン』フィリピンアカデミー賞 最優秀作品賞、最優秀ドキュメンタリー賞、東京フィルメックス・コンペティション部門出品 ○ <u>チャン・チーウェイ</u> (2013) 監督『チャンケ:よそ者』東京国際映画祭出品
2021年	○ <u>アノーチャ・スウィチャーゴーンボン</u> (2010) 監督『Come Here』ベルリン国際映画祭フォーラム部門出品

＜日本公開作品(2020年度)＞

○ 小田香 (2015) 監督『セノーテ』 ○ 三澤拓哉 (2019) 監督、ウォン・フェイパン (2019) プロデュース『ある殺人、落葉のころに』【NETFLIX 配信中】○ ヨー・シュウホア (2015) 監督『幻土』

* ()内はタレンツ・トーキョー参加年

2021年3月31日現在